

Title	比喩の理解・生成に関する研究の調査 [課題研究報告書]
Author(s)	岡村, 一徳
Citation	
Issue Date	2014-03
Type	Thesis or Dissertation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/12044
Rights	
Description	Supervisor: 島津 明 教授, 情報科学研究科, 修士

比喩の理解・生成に関する研究の調査

岡村 一徳 (0910902)

北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

2014年2月

キーワード：メタファー理解、メタファーの履歴、比喩計算モデル、自然言語処理

私たちは日常生活において言葉を通じて、外部世界を認識したり、経験や知識を獲得したり、考えを表現したり、複数人での共有理解を深めたりしている。このような日常の言葉は、その時代の文化や風習の変化の中で生きていて、言葉や意味が変わりながらも安定したコミュニケーションが実現されている。

この方策のひとつが比喩と考えられる。ある概念をある概念に喩えたり、ある概念の側面を別な概念から捉え直すことにより、新しい世界が広がり、これまでにない解釈が生まれ、知識や経験が拡大され、知識が共有理解されやすくなったりする。

こういった比喩は私たちのまわりに存在している。たとえば、「人間の心はコンピュータである」「人生はドラマだ」「議論は戦争である」「君はわたしの太陽だ」「人生は羅針盤のない旅のようなものだ」「人生は川の流れのようだ」といったメタファーや直喩といわれるものがある。「AはBである(A is B)」のように、被喩辞のAを喩辞のBによって喩える表現である。

比喩とは、われわれの思考活動や、知識を構築する基礎のひとつであると考えられる。したがって、わたしたちの心的活動、言語活動の解明には重要な現象であるとともに、言語進化あるいはそのベースである知能の進化の重要な機能と考えられる。その比喩はどのように生成され、理解されるのだろうか。

言語学や認知心理学の分野では、比喩の理解過程の理論モデルとしては、伝統的には字義文解釈と比喩文解釈は別プロセスでかつ字義的解釈が優先されるものであった。その後、過去40年あまりの間に、Contrast Modelや顕著性落差モデルのような非喩辞と喩辞それぞれが持つ属性や特徴をもとにした特徴比較理論、構造整列理論のような非喩辞と喩辞それぞれが持つ構造をもとにした構造比較理論、類包含モデルのような非喩辞と喩辞が属するカテゴリーをもとにしたカテゴリー理論などが登場していった。また、比喩の定着過程

として段階性顕著性仮説、比喩生成基盤として、概念メタファーや身体化理論が提唱されている。

自然言語処理の分野では、先行する比喩の言語理論をもとに、関連性理論、連想概念辞書、確率的概念辞書を用いた各比喩理解計算モデルや、比喩生成の計算モデルが提唱されている。

本課題研究の目的は、比喩の生成や理解について、言語学や認知心理学の分野での研究と、自然言語処理の分野での研究をサーベイすることである。そして、理論面とアルゴリズム面の両面でのこれまでの代表的な知見を整理し、これから比喩に関する自然言語処理研究にたずさわる人にとって、言語理論と計算アルゴリズムの両面から捉える今後の研究への導入の一助とすることである。